



大槻ゆり子 議員

災害から市民を
どう守るか

市の防災意識をどう高めるか

答 業務継続計画と業務マニュアルを作成しました。今後も意識向上に努めます。



問 市の危機意識をどう高めるか。

答 政策部長

大規模災害時の対応について検討を行い、業務継続計画と業務マニュアルを作成しました。今後も意識向上に努めます。

問 住民主体の避難所運営は明確になっているか。

答 政策部長

「広域避難所運営マニュアル」を作成しています。また、住民参加の避難所設営訓練をマキノ地域で実施しました。なお、防災リーダー研修や、防災出前講座で広域避難所における自主運営の周知を図っています。

問 災害弱者と言われる方への対応は。

答 政策部長

今年3月に「避難行動要支援者名簿」を作成し、各自治会に配布しました。また、本年は、市内の福祉施設等にも参加をいただき、2度の連携した訓練を行いました。

問 本市のタイムラインの導入の考えは。

答 政策部長

タイムラインとは、災害を予め想定し共有した上で、いつ、誰が、何をするのかを時系列で整理した防災計画であり、先進事例では大きな減災効果の報告があります。本市においても導入を進めてまいりたいと考えています。

問 災害担当職員の数と防災士資格取得の人数は。

答 政策部長

担当職員は政策部総合防災局に6人。資格取得者は消防職員に4人がいます。市民の資格取得については、地域の防災力の中でどのように生かせるか研究します。



その他の質問

● 学校図書館の充実について